

1 新潟病院附属看護学校の学生確保支援について

1 背景

新潟病院附属看護学校は、例年定員である40人をほぼ満たしてきた。しかし、令和3年度入学者が定員40人に対し入学者が27人と大きく落ち込み、中島学校長の話では、2年連続で同様の状況が続くと募集停止も考えられるとのことであった。

新潟病院附属看護学校では、来年度以降の入学者確保を狙い、授業料の減額を行う予定である。それに併せ、市としても新潟病院附属看護学校の存続を支援することから、以下のとおり入学祝金事業を設計した。

2 新潟病院附属看護学校が単独で行う授業料の減額策について

- (1) 授業料 現行 400 千円から 200 千円に変更 **▲200 千円**
- (2) 設備整備費 現行 30 千円から 100 千円に変更 **+70 千円**

学生一人当たり **▲130 千円**

3 市が行う入学祝金額について

- ・ 卒業後、市内医療機関に就職する確率が3か年平均 **83%**と高い市内出身者には **200 千円**交付とし、市外出身者には **100 千円**の交付とする。なお、市外出身者の市内就職率は **57%**である。
- ・ 市外出身者（100 千円）の場合でも **学生が支払う費用総額**は、県内競合校と比較して **県立学校に次いで安い金額**となる。（下表のとおり）
- ・ **退学した交付者**に関しては、**全額返還**してもらう

表 新潟病院附属看護学校と県内競合校との支出費用比較（表内では、入学祝金を入学金と相殺させている）

単位：千円

県内競合校		入学検定料	入学金	授業料	施設設備費	実習費	合計金額
新潟病院附属看護学校	現行	20	200	400	30	-	650
	R4年度からの変更案	20	200	200	100	-	520
	入学祝金(市内:200千円)	20	0	200	100	-	320
	入学祝金(市外:100千円)	20	100	200	100	-	420
県立十日町看護専門学校(R2年4月開設)		9.6	70	190	-	-	270
新潟県立新発田病院附属看護専門学校		9.6	70	190	-	-	270
晴麗看護学校		20	100	250	100	20	490
新潟県厚生連中央看護専門学校		20	100	460	130	-	710
長岡赤十字看護専門学校		20	100	350	250	-	720

- ・ 入学祝金を入学金と相殺させて考えることで、**見かけの入学費用（入学金+授業料）を安くできる。**
- ・ **見かけの入学費用**だけで見ると、**市内出身者の場合、県立看護学校（260 千円）よりも新潟病院附属看護学校（200 千円）の方が安くなる。**（学校側が宣伝しやすくなる）

4 市の予算規模

新潟病院附属看護学校の1学年定員は40人（過去3年間の平均から市内外の人数を算出）

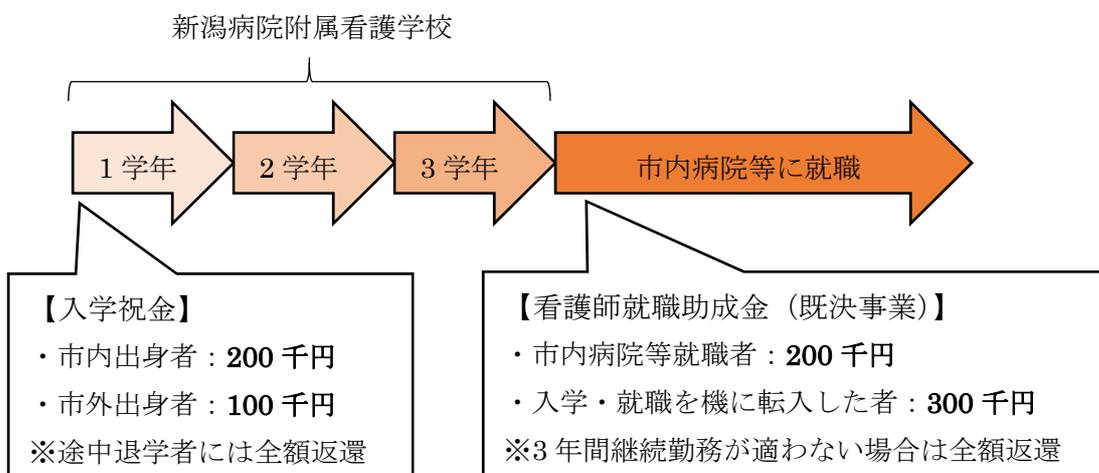
市内出身 10人×入学金 200千円＝2,000千円

市外出身 30人×入学金 100千円＝3,000千円

合計 5,000千円

5 新潟病院附属看護学校に入学してから市内病院等に就職するまでの支援体制フロー図

市内就職時の看護師就職助成金も併せて宣伝することで、進学から市内就職までの流れをより魅力的に伝えることができる。



- ・ 市内出身者の学生が新潟病院附属看護学校に入学し、市内の病院等に就職した場合、合計400千円。
- ・ 市外出身者の学生が入学、就職を機に柏崎市に転入し、新潟病院附属看護学校を卒業後市内病院等に就職した場合でも合計400千円となる予定である。